

学習フィードバックシート

プロジェクト名：ロボット型ユーザインタラクションの実用化-「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する - グループ名： Group3 担当教員名：三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
学籍番号 1018199 氏名 小山内 駿輔

1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0 回(10 点) ・ 1 回(5 点) ・ 2 回(0 点)
週報	9 /10	標準点：7 点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	8 /10	標準点：7 点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	8 /10	標準点：7 点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	7 /10	標準点：7 点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価 ・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	8 /10	標準点：7 点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	13 /20	標準 14 点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	14 /20	標準 14 点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	77 /100	

(注)週報の不備を、システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

2.理由

私はプロジェクトが開始してから一度も欠席することなく、必ず出席しているので出席は10点であるとする。週報は全て提出し、内容もきちんと網羅しているとするが、一度だけ少し遅れてしまったことがあるため、9点だと考える。ポートフォリオを見ると、前期の目標を完璧とはいかないまでも8割がた達成したと考える。発表会に関しては、全体のスライドの読み込みや最終的な動画作成、セリフの推敲などを行い、中間発表の成功に貢献できたとするが、スライド作成を少々ほかのメンバーに任せてしまったため、8点だと考える。外部評価に関しては、中間発表会によって得られた意見に目を通し、自分たちの成果物に関して客観的に見ることは出来た。その対策はまだ立っていないが、問題点を洗い出せたので7点ぐらいだと考える。協調性や積極性においては、議論で積極的に意見を出したり、周りの意見を聞いて自分の意見の質を高めるなど、仲間と対話し、研鑽に努めてくれたので8点だと考える。計画性においては、序盤は割といいペースで進んでいたが、7月に設計の段階まで入る予定が、まだ未着手のため、13点ぐらいであるとする。成果としては、CAD設計は終わっていないが、スタイロフォームで模型を作り、外観のイメージをつかめているかつ、現在機構の調査によって現在進行形で知見を得ているため、14点が妥当だと考える。以上を鑑みて合計し、77点が自身の妥当な点数であるとする。

3. 共同作業者によるコメント

コメンター氏名：田澤 卓也

積極的に意見を言ってもらった。

今後も一緒にロボット作り頑張りましょう。

サイン 田澤卓也

コメンター氏名：普久原 朝基

スライド制作や週報で大変お世話になりました。

これからの勉強頑張っていきましょう。

サイン 普久原朝基

3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳 鈴木昭二 高橋信行

学習ポートフォリオ（配属時）

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳先生, 高橋信行先生, 鈴木昭二先生
氏名	小山内 駿輔
学籍番号	1018199
クラス	K
現時点における学習目標は何ですか。(複数回答可) プロジェクト学習を通じて習得したい事柄を選んでください。	複数のメンバーで行う共同作業; 発表(含むポスターの作成)方法; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を楽しく行う方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(自由記述 200 文字以上)	第一にメンバーや先生方と積極的にコミュニケーションをとり、意見を交わしたりアドバイスをあげたりもらうことによって共同作業を円滑に行うと同時に、作業効率を良くしたり迅速な課題解決につなげたいと考える。第二に書籍や論文、インターネットの記事などを十分に読み込み、必要な知識や技術を取り入れながらあらゆる形でアウトプットし、自身の技術力向上につなげられるように自己研鑽を欠かさない。第三に活動自体を真剣かつ楽しみながら行い、より密度の濃い研究をするとともに、メンバーとの親交を深めてさらに良いコミュニケーションをとれるように尽力する。
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	できる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	よくできる
証拠に基づいて意見を述べることができる	できる
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	できる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	まあまあできる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	できる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向け	できる

てやり抜くことができる	
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	まあまあできる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	よくできる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	できる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	できる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	まあまあできる
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探すことができる	できる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	できる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	できる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	まあまあできる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	できる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	できる

他者を信頼し、共感することが できる	よくできる
活動を粘り強く行うために 必要な集中力がある	まあまあできる
情報を批判的かつ入念に 検討し、評価できる	できる

学習ポートフォリオ（中間）

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳, 高橋信行, 鈴木昭二
氏名	小山内駿輔
学籍番号	1018199
クラス	K
配属時における学習目標は何でしたか。(複数回答可)	複数のメンバーで行う共同作業; 発表(含むポスターの作成)方法; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を楽しく行う方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。(自由記述 200 文字以上)	上記の目標達成のために、仲間同士、先生方とのコミュニケーションに力を入れることで、メンバーや先生に意見を募ったり、相談をしながら共同作業を行い、楽しみながら真剣に成果物を作成できるよう尽力した。また、効率的に課題解決をするため、時間を無駄にせず、積極的に学習に時間を割くように努めた。また、部品やパーツを触りながらどの部品がどの機構に生かせるか、どんな挙動になりそうかなどを考察し、よりよい制作に繋がられるよう努めた。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？現時点(7月末)における学習目標を選択してください。(複数回答可)	複数のメンバーで行う共同作業; 発表(含むポスターの作成)方法; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を楽しく行う方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
(9 の質問で学習目標が変化した学生) 学習目標が変わった理由は何ですか？(200 文字以上)	
後期、学習目標の達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(200 文字以上)	後期はさらに自発的な学習を進めることにより、より専門的な知識と経験を身に着け、土台となる基礎的な知識、そこからさらにステップアップできるような知見を得て、これからの自身の成長につなげていきたいと思う。また、より専門的な会話を増やして、周りの人たちから多くの知見を得たいと思う。あとは、積極的に協力し合い、課題を互いに手を差し伸べあいながら解決し、より質の高い成果物、提出物が作れるようになりたいと考える。
前期の活動を振り返って、	前期の活動は全体的にみると良く進んでいたと考える。オンライン授業と

活動全体の印象や感想を書いてください。（自由記述 200 文字以上）	いう全く未知な状況にありながらも、各々が積極的にコミュニケーションをとり、与えられた課題や作業を手探りながら解決に向けて尽力していたと考える。しかし、やはり、対面の時よりはコミュニケーションがうまくいかず、理解に齟齬が生まれたり、学校でできた作業が出来なくなり、作業効率が落ちている部分も見受けられたと考える。そのため、後期では学校に出て作業が出来ればもっと良いとも感じた。
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	できる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	できる
証拠に基づいて意見を述べることができる	できる
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	できる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	できる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	できる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	できる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	できる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	よくできる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	できる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	よくできる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	まあまあできる
さまざまな情報源から必要	できる

な情報を効率的に探することができる	
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	まあまあできる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	よくできる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	できる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	できる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	よくできる
他者を信頼し、共感することができる	よくできる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	できる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	できる
あなたは前期のプロジェクト学習に意欲的に取り組みましたか？	まあまあ意欲的だった
前期の活動を行ったことにより、あなたはプロジェクト学習の内容に興味を持てるようになりましたか？	興味を持てた
前期のプロジェクト学習の活動は、あなたの今後に役立つと思いますか？	役に立つ
今後、同じようプロジェクトを行うことになったら、もっとうまくやれる自信があります	どちらともいえない

か？	
前期のプロジェクト学習の活動に満足していますか？	まあまあ満足している
オンラインでの発表に関して、問題点の指摘や改善方法の提案などがあれば記してください。	